

作木酪農振興会

十二月九日 川の駅常清

「乳房炎対処」を学ぶ



作木酪農振興会（会長 橋本洋資、会員三名）は、年末恒例の研修会を開催し、三次家畜診療所の酒田獣医を招き「乳房炎の対処方法」を学んだ。

意見交換では、日頃の悩みから「初生牛の管理」や「白血病対策」等の様々な質問も飛び交い、獣医からの情報発信と酪農家間の意見交換など、活発な研修会となった。

あきたかた酪農振興会

十二月十一日 美土里町「神楽門」前湯治村

厳冬の先には きっと春が!!



あきたかた酪農振興会（会長 玉浦 転、会員十六名）は研修会を開催した。開会にあたり、玉浦会長から「円安になり厳しい酪農情勢ではありますが、厳しい時こそ笑顔を忘れず、酪農家同士の情報共有を図り、耐え乗り切りましょう。」と挨拶された。

研修会では、広酪の鈴木道弘専務（広酪）から乳価交渉の状況、体細胞数緩和検討の動き、広酪TMR等の情勢報告と、市川貴英所長（全酪連三次駐在員事務所）からの配合飼料・粗飼料の価格動向について報告を受け、その後の質疑応答では「今後、白血病・体細胞の検討を」等の活発な意見交換が行われた。

その後は、篠塚先生（家畜診療所）の乾杯発声で会食に入り、お互いの一年の労をねぎらい、楽しい一時を過ごされた。

西部地域組合員連酪協議会

十二月九日

広島市安佐南区「せせらぎ」

中国生乳販連の 情勢報告を受け 意見交換

西部地域組合員連酪協議会（会長 岡崎博昭、会員十名）は、中国生乳販連の鍵山信儀常務を招き、研修会を開催した。

広酪からは寺道弘生課長補佐、高松むつみ所長、加藤祐一技師の三名が出席し、全酪連からは佐々木真吾職員が出席された。

鍵山常務からは、乳価交渉の状況や体細胞基準の見直し等を含めた「酪農情勢」の報告を受け、中国生乳販連の生乳受託販売委員でもある大上浩也氏からも、委員会での意見や内容等が報告された。研修会後は互いに一年の労を癒す場として、会食が行われた。

賀茂地域酪農団体連絡協議会

十二月十一日 東広島市志和町「湖粹園」

乳房炎研修と川柳大会

賀茂地域酪農団体連絡協議会(会長 上川俊夫)は研修交流会を開催し、十会員二十六名の参加があった。研修会では、秋田所長(東広島家畜診療所)を招き「最近の乳房炎の初期治療について」と題し講演が行われた。

秋田所長は、「乳房炎の症状が出た場合は先ず獣医師に相談を」と呼びかけられた。出席者からは基本的に立ち返る重要性を改めて認識したと

の感想が聞かれた。

組合からは「乳価交渉の状況・年末始の自衛防疫の再確認・組合合併時からの推移」について情報伝達し、交流会を行った。

今回の交流会は、新しい試みとして、婦人部(山延眞智子部長)発案で「川柳大会」が行われ、会員からの投票で上位入賞者を決定し、景品が渡された。交流会は終始和やかに意見交換等で親睦を深められました。



(川柳大会入賞者の披露)

入賞作品

安くなる ダメヨ ダメダメ 円そうば

牛さん語 分かるアプリが ないのかなあ

うちの父 話す相手は 孫と牛

寝正月 酪農一家の 辞書になし

広酪西部ミルク会

十二月五日 広島市南区「グランドプリンスホテル広島」

「頑張った私に、ご褒美を」

広酪西部ミルク会(会長 西原美和、会員十八名)は、忘年会を開催し十三名が出席された。広酪からは寺道弘生課長補佐(事業推進課)、高松むつみ所長、河野妙子職員(西部事業所)の三名が出席した。

例年は、この時期に研修会と忘年会を開催されているが、十一月に平和学習を行われたことから、今年はいかに一年の労を癒す場として忘年会とされた。



また、広酪の十二月一日付け人事異動によって、西部事業所から異動した寺道弘生課長補佐への御礼の言葉、そして、今年九月に定年退職を迎えられた河野職員に花束が贈られ、新たに西部事業所長に着任した高松所長から「皆様さんのご協力を宜しくお願いします。」と挨拶がされた。

今回は、美味しい食事を楽しみ、「女子トーク」で盛り上がる人達、食後の至福の時間をお湯に浸かり癒す人達と、それぞれに過ごされた。